

令和5年度 環境目標・環境活動計画(環境施策・環境配慮用)(様式G2)取りまとめ表

部局	所属	環境目標	達成状況	評価
企画振興部	交通政策課	マイカーから公共交通への転換を促し、公共交通の利用促進を図る。		
総務部	財産活用課	財産活用課では、県庁舎が大規模な消費者、事業者であることの認識の下、平成10年度に「長野県庁の環境保全のための率先実行計画」を策定して以降、様々な省エネ・省資源の取組を進めてきました。令和5年度においても、環境に配慮した業務の推進に取り組む。		
	環境政策課	<p>県民の環境に関する「学び」を拡大し、自然環境の保全や、持続可能な社会を支える人づくりのため「信州環境カレッジ」を運営する。</p> <p>・受講者目標 13,120人</p> <p>・長野県ゼロカーボン戦略、第6次長野県職員率先実行計画に掲げる目標の達成を目指し、効果的・効率的な事業の構築を図る。</p> <p>・大規模事業者の温室効果ガス総排出量を、事業活動温暖化対策計画書制度の第4次計画期間(R5～R7年度)の最終年度において対R4年度▲15%とする</p> <p>・家庭の省エネサポート事業者を増やすなどにより、家庭部門の温室効果ガス排出量を対H22年度▲22%とする</p> <p>・再生可能エネルギーを普及拡大し、令和5年度末の再生可能エネルギー生産量を3.2万TJとする。</p>		
	水大気環境課	<p>・排水基準が適用される事業所等への立入検査を実施するとともに、水質測定計画に基づき水質測定を実施し、第五次長野県環境基本計画に定める水環境保全目標の達成を目指す。</p> <p>・光化学オキシダントを除き、大気環境基準達成率を100%とする。</p>		
	生活排水課	<p>・下水道等の整備により生活排水の適切な処理を図るため、令和14年度末には、概ね全県に下水道等を普及させる。(令和14年度末汚水処理人口普及率目標:98.9%)</p> <p>・県内3流域4処理区の流域下水道の整備及び更新を推進し、適切な維持管理を行う。</p> <p>・効率的かつ効果的な流域下水道の整備・更新を行う。</p> <p>・流域下水道処理場における省エネルギー・創エネルギーを進める。</p> <p>・流域下水道の適切な維持管理を行う。</p>		
	自然保護課	<p>①保護団体やNPO等と協働した希少野生動植物保護活動 生物多様性保全パートナーシップ協定締結数 R5:21協定</p> <p>②自然公園の適正利用、美化活動 自然保護レンジャーによる自然公園利用者への適正な利用の呼びかけ、美化活動</p>		
	資源循環推進課	<p>○中長期の目標 循環型社会形成 1 4Rの推進[長野県廃棄物処理計画(第5期)の目標] ・一般廃棄物 総排出量 583千トン ・産業廃棄物 総排出量 4,482千トン 2 廃棄物の適正処理の推進</p> <p>○今年度の目標 長野県廃棄物処理計画(第5期)の重点施策等の推進 【一般廃棄物4Rの推進】 ・「信州プラスチックスマート運動」協力店の新規登録店舗数 40店舗増(令和4年度末638店舗) ・「食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～」新規協力店舗数 40店舗増(令和4年度末940店舗) ・きれいな信州環境美化運動一観光地を含めた県全体をきれいにする環境美化運動を展開 参加人数20万人以上 【産業廃棄物3Rの推進】 ・産業廃棄物3Rサポート事業の実施→産廃3R実践講習会、産廃3R専門研修会の実施 【廃棄物の不法投棄対策】 ・立入検査件数年間6,300件</p>		
	環境保全研究所	第五次長野県環境基本計画において、持続可能な社会の構築に向けた環境保全意識の醸成と行動の促進が挙げられている。県民の環境保全意識をより高めるため、環境保全研究所の環境教育講座等の質的な満足度(アンケート調査による満足・概ね満足の割合)を8割以上とする。		
	千曲川流域下水道事務所	<p>・下水道の整備により生活排水の適正な処理を図り、環境への負荷を低減させる。</p> <p>・汚水処理人口普及率を、令和2年度末98.7%から、令和9年度までに概ね100%とする。</p> <p>・令和5年度は流域下水道施設の着実な整備と適正な管理運営に取り組む。また、関連市町村と一体となって整備を促進し、令和5年度末における下水道普及率99.0%を目指す。(長野県生活排水処理構想2022改定版)</p>		
	諏訪湖流域下水道事務所	<p>・市町村に対して計画区域内の下水道整備を促進し、下水道の普及率を平成27年度末の98.4%から、令和12年度までに概ね100%とする。(「水循環・資源循環のみち2015」構想)</p> <p>(令和4年度末で99.4%であることから、令和5年度は99.5%を目指す。)</p>		
	犀川安曇野流域下水道事務所	<p>・処理区域内の汚水処理人口普及率を令和2年度末の97.4%から令和5年度末における97.5%を目指す。(長野県生活排水処理構想(2022改訂版))</p> <p>・下水道の放流水質について、BODの管理基準(8mg/L)を超過しないようにする。</p>		
	佐久地域振興局 環境・廃棄物対策課	<p>(環境保全の普及啓発) ・環境保全への関心を高め、気運の醸成を図る。 (環境保全の推進) ・佐久地域の環境保全に向けた取り組みを推進する。 (ゼロカーボンの推進) ・佐久地域のゼロカーボン推進に取り組む。</p>		

環境部	上田地域振興局 環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼロカーボンの推進を図る。 ・上小地域の豊かな自然環境の維持・保全を図る。 ・持続的に発展できる循環型社会の形成を推進する。 		
	諏訪地域振興局 環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・工場・事業場等への立入検査を実施し、排水基準の遵守及び浄化槽の適正管理の徹底を図ることにより、諏訪湖の水質保全を図る。工場・事業場等への立入検査を80件実施する。浄化槽への立入検査を120件実施する。 また、諏訪湖の生態系及び負酸素域の拡大に影響を与えているヒンを除去するため、諏訪湖創生ビジョン推進会議による除去作業に参加し、諏訪湖の水環境の保全を図る。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ばい煙発生施設、一般粉じん発生施設への立入検査及び特定粉じん排出等作業を行う現場への立入検査を行い、良好な大気環境の保全を図る。 ・ばい煙発生施設、一般粉じん発生施設への立入検査を50件実施する。 ・特定粉じん排出等作業を行う全現場への作業前と作業後の立入検査を行う。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・国内有数の自然環境である霧ヶ峰の草原景観を守るため、霧ヶ峰自然環境保全協議会が実施する自然保全再生作業へ参加する。(8回/年) 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量に向け、チャレンジ800の推進及び食品ロス削減のためフードドライブに関係機関等と連携して取組むとともに、諏訪湖のヒンをたい肥化させ、地域で活用することにより地域循環圏の形成を推進する。 		
	上伊那地域振興局 環境・廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> ・上伊那広域連合のごみ処理基本計画に基づき進められている施策の推進、当該ごみ処理基本計画の見直しに関する検討会議において助言等必要な支援を行うことにより、廃棄物の減量化・適正処理を推進する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 水道事業の適切な運営を図るため、水道施設への立入検査(上水道・簡易水道、年1回以上)、立入調査(飲料水供給施設・簡易給水施設、年1回以上)を実施するほか、簡易専用水道・準簡易専用水道、また、飲用井戸・湧水(井戸)等の施設の維持管理指導を行う。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 排出事業者及び産業廃棄物処理業者等に対する計画的な立入検査を行い、不適正処理・不法投棄事案に迅速に対応する。 廃棄物処理施設等に対し、廃棄物処理法その他関係法令を遵守し、適正な維持管理を行うよう指導する。 		
		<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度 立入検査計画件数 900件 水質汚濁防止法第22条に基づく立入検査を計画的に行い、もって長野県の良好な水環境の保全に資するものとする。 立入検査目標件数 100件 		
	南信州地域振興局 環境課	<ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー消費量の低減 ・当課公用車の燃費について、昨年度実績15.6km/L以上の燃費を目標とする。 ○環境意識啓発の推進 ○優れた自然環境の保全推進 ○浄化槽の適正管理の推進 		
木曾地域振興局 総務管理・環境課	<ol style="list-style-type: none"> 1 ゼロカーボンに向けた取組の推進 <ul style="list-style-type: none"> ○ゼロカーボンに関するパネル等を活用し、普及・啓発活動を実施する。 ○電子決裁・供覧の活用や手差しトレイの使用により、コピー用紙の浪費防止を目指す。 2 循環型社会の形成 <ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ800の取組として、町村と協働し、木曾地域のゴミ減量化を目指す。 ○浄化槽管理者への立入検査を100件実施する。 3 豊かな自然環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ○安心安全な水の保全、また、大気環境の保全を図る。 ○特定施設への立入検査を年40件実施する。 ○自然公園について、優れた風景地を保護するとともに、環境団体と協力して、環境整備を行う。 			
松本地域振興局 環境・廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> ○廃棄物対策 ・3R(排出抑制、再使用、再資源化)推進のための事業の実施 ・不法投棄防止及び廃棄物の適正処理の推進 ○水環境・大気環境保全 ・地下水の水質保全対策、大気環境保全対策の推進 ○優れた自然の保護・利用を推進 ・自然公園など山岳環境の優れた風景地を保護するとともにその適正な利用の推進を図る。 ・希少野生動植物の保護等、生物多様性の確保対策を推進する。 ○温暖化対策 ・長野県ゼロカーボン戦略に基づき、地球温暖化対策及び自然エネルギー政策に係る取組を実施する。 ・職員率先実行計画に基づき、県機関における温暖化対策を推進する。 			
北アルプス地域振興局 総務管理・環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・北アルプス地域の豊かな自然環境保全の推進 ・持続的な循環型社会の形成 			
長野地域振興局 環境・廃棄物対策課	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化対策 ・「2050ゼロカーボン」の周知・啓発活動の実施 ○水環境・大気環境保全 ・水質及び大気の保全対策の推進 ○廃棄物対策 ・廃棄物の適正処理の推進 			
北信地域振興局 環境課	<ul style="list-style-type: none"> ・北信地域のゼロカーボン推進に取り組む。 ・北信地域の豊かな自然環境の維持・保全を図る。 ・良好な生活環境の保全を推進する。 ・持続的に発展できる循環型社会の形成を推進する。 			
産業政策課	<ul style="list-style-type: none"> 「長野県SDGs推進企業登録制度」の運用を通じて、経済・社会・環境の3側面の課題を統合的に解決することを目指す県内企業を増やし、持続可能な社会の実現を推進する。 ・目標登録企業者数(令和5年度):150者 			

産業労働部	経営・創業支援課	長野県SDGs推進企業として登録を受けた中小企業者等に優遇措置(貸付利率0.2%引下げ)を適用する県制度資金「中小企業振興資金(しあわせ信州創造株)」や、環境に配慮した取組みを行う者を貸付対象とする「信州創生推進資金(ゼロカーボン・次世代産業向け)」の利用を促進し、県内中小企業者等のSDGs達成に寄与する取組み等を資金面から支援する。		
	産業立地・IT振興課	県内に立地する企業が活用する助成金について、長野県SDGs推進企業登録制度への登録、長野県地球温暖化防止条例に基づく事業活動温暖化対策計画書の提出を必須条件とし、さらにZEBやRE100等の認証による助成率の上乗せする優遇措置を設けるなど、2050ゼロカーボンに取り組む先進的な企業の集積を図る。		
	産業技術課	外部専門家や工業技術総合センター職員等で構成する専門家チームにより、県内企業5社以上に対して、カーボン排出量の可視化とともに具体的な削減支援に取り組み、その結果を公表することで、県内企業への改善方法の普及や省エネ意識の向上を図る。		
	産業人材育成課	技術専門学校や工科短期大学校において、自然エネルギーに関係する訓練、省エネルギーに寄与する訓練、環境に配慮した訓練の実施やそのための環境整備を行う。		
	労働雇用課	令和2年3月に策定した「長野県就業促進・働き方改革基本方針」及び「長野県就業促進・働き方改革アクションプラン」に基づき、長時間労働の削減や休暇取得の促進、多様な働き方制度やテレワークの導入等の働き方改革を進めることで消費エネルギーの削減へつなげる。		
観光部	山岳高原観光課	世界に誇る国立・国定公園を持つ長野県観光において、自然や美しい景観を保全・継承しながら、そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられる山岳高原リゾートに向けた観光地域づくりに取り組む。		
	観光誘客課	世界に誇る国立・国定公園を持つ長野県観光において、自然や美しい景観を保全・継承しながら、そこに暮らす人も訪れる人も「しあわせ」を感じられる山岳高原リゾートに向けた観光地域づくりに取り組む。		
	農業政策課	「第4期長野県食と農業農村振興計画」初年度にあたり、「皆が憧れ、稼げる信州の農業」「しあわせで豊かな暮らしを実現する信州の農村」「魅力あふれる信州の食」を実現するために、関係機関と連携し環境と調和した農業・農村施策を推進する。		
	農業技術課	—有機農業などの環境にやさしい農業の面的拡大— 持続可能な農業を推進するため、環境にやさしい農業の取組面積を拡大する。 化学合成農薬・化学肥料を原則50%以上削減した栽培や有機農業に取り組む面積 : 2,877ha		
	園芸畜産課	畜産 農家巡回等により家畜排せつ物の適正管理について調査し、環境問題発生 の防止と良質な堆肥生産に向けた技術指導などを進める。 ・農家巡回 290戸(R4年度巡回予定の戸数)		
		外来魚 ブラックバス、ブルーギル等の外来魚及びカワウによる漁業被害を軽減する とともに、生物多様性を保全し、豊かな水産資源を維持する。 漁業協同組合が行う駆除等の取組に対して支援し、外来魚及びカワウの駆 除を行う。 外来魚駆除30,000尾、カワウ60羽を目標に駆除する。		
	農地整備課	農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同して取り組む地 域活動や、農地・水路・農道等の保全活動を支援するとともに、農村環境を保 全する取組の拡大を図る。(目標44,716ha)		
		農業用水を活用した小水力発電施設の建設支援による再生可能エネルギー の普及拡大を図るため、土地改良区・民間事業者等を対象とする講習会・相談 会を開催するとともに、発電適地に係る情報発信を行う。		
	農村振興課	[中長期の目標] 中山間地域における自立的かつ継続的な農業生産活動を支援することで、 荒廃農地の発生を防止し、農業・農村の持つ水源かん養、洪水発生防止機能 等の多面的機能の増進を図る。 [今年度の目標] 中山間地域農業直接支払事業における協定締結面積の目標を9,258haとす る。		
	農業大学校	学生が自発的に環境に配慮し、卒業後環境に対する意識の高い社会人とな るよう働きかける。 ・寮生活で発生するごみの分別の徹底 ・節電意識の醸成 ・学生寮周辺の美化活動(年3回以上)		
	病害虫防除所	今年度から「第4期長野県食と農業農村振興計画」の5か年計画がスタートし た。この中の重点的に取り組む事項の一つに「環境にやさしい農業など持続可 能な農業の展開と消費者理解の促進」を掲げている。これには、病害虫防除に 当たっては、病害虫の発生後のみ対処するのではなく、事前の発病予測に基づ いた予防策を講じることで、より病害虫の発生しにくい生産環境を予め整備し、 その結果化学合成農薬のみに依存しない生産体系を組み立てようとするもの である。 この観点に沿って、病害虫防除所では、病害虫の発生予察を行い結果を取りま とめ、生産者や関係機関・団体にリアルタイムな予察情報や農薬情報等を提供 し、持続可能な農業の推進に資するよう取り組む。		
農業試験場・果樹試験場	農業技術への理解を深めるとともに、環境にやさしい農業を推進するために、 各種検討会を開催し、県民への意識の高揚を図る。			
野菜花き試験場	高品質で安全・安心な農産物を環境にやさしい方法で供給するための適正施 肥・有機物利用技術を確立する。			

	酪農肉用牛部 牛などの反すう動物の消化管内発酵に由来するメタンは、二酸化炭素換算で農林水産分野から排出される量の34.5%と推定され、牛由来のメタン排出を抑制することは地球温暖化対策として極めて重要である。 反すう動物の第一胃内では、微生物が繊維を消化し動物にエネルギー源を供給しているが、同時にメタン産生菌によってメタンが産生される。 メタン産生菌は、カテキンやタンニン等のポリフェノールなどにより活動が抑制されるが、単純にメタン産生を抑えると飼料の利用効率が低下し畜産物(生乳や枝肉)の生産性低下につながる恐れがある。 そこで、これらの給与によるメタン産生抑制効果や畜産物の生産性について検討する。		
畜産試験場	養豚養鶏部 全国各地で在来種を交配した地鶏が作出され活用も進んでいるが、給与する飼料の多くはブロイラー専用の配合飼料であり、その飼料原料の大部分は輸入穀類に依存している。飼料原料の輸送には多くの化石燃料が必要であり、地球温暖化の原因となるCO2等の温室効果ガスの発生が懸念されている。 一方、長野県の特産品の一つである日本酒やワインの製造に伴い産出される酒粕や果実の搾りかすは、その大半を産業廃棄物として処理せざるをえないのが現状であり、生産者はその有効活用を熱望している。 そこで、地域で発生する未利用資源を有効利用して、輸入配合飼料の利用を最小限に抑える技術を開発する。		
	飼料環境部 信州の豊かな自然環境と調和し、持続性の高い農業を推進するため、環境にやさしい農業と地球温暖化等に適応できる技術を開発します。 今年度は、家畜排せつ物の堆肥化処理から施用後における温室効果ガス発生低減技術の確立に取り組む。		
南信農業試験場	長野県農業関係試験研究推進計画(農業技術ステップアッププログラム)に基づき、日本なし及びかき栽培における環境にやさしい農業技術の開発を進める。また、各種検討会等を開催し、環境にやさしい農業に関する情報提供を行い、県民の意識高揚を図る。		
水産試験場	すべての生命の源である「水」を常に意識し、湖沼・河川の管理者等と連携して水環境の保全について啓発事業を推進します。 ・漁業関係者に対する養魚指導の際に「水環境保全」について啓発指導を行う。(年間200件目標) ・施設見学に来場する小・中学生等に「水環境保全」についての話題を盛り込む。(年間1000人目標)		
佐久地域振興局 農地整備課	周辺環境と関連性の強い水路等は、環境の連続性に配慮し、現況の自然環境を保全するとともに水と緑の連続した空間の形成を図る。		
上田地域振興局 農地整備課	農業農村整備事業の推進にあたっては、農村環境及びそれを取り巻く自然環境との調和に配慮するため、「長野県農業農村整備環境対策指針」に基づき環境保全対策を実施する。		
諏訪地域振興局 農地整備課	○農業農村整備事業における環境配慮の運用に基づき、環境との調和に配慮する農業農村整備事業を推進する。 ○農業者が共同で取り組む地域活動や、地域資源の質的向上に資する活動を支援し、農地の多面的機能の維持・増進を図る。		
上伊那地域振興局 農地整備課	工事において、既設材の再利用等により廃棄物の発生抑制を推進すると共に、廃棄物の再生材利用を行う。		
南信州地域振興局 農地整備課	地域の豊かな環境を保全するため、長野県農業農村整備環境対策指針に基づき、環境に配慮した生産基盤整備を推進する。		
木曾地域振興局 農地整備課	豊かな自然や特産品を活かして、長年にわたり維持増進されてきた田園景観や農産物の加工技術など、地域固有の自然や技術、生活文化などを再評価し、農業と地場産業、さらに観光が結びついた新たな地域産業の構築を図るとともに、農地の適切な利用・管理により、中山間地域の環境保全能力の維持・増進を図る。		
松本地域振興局 農地整備課	多面的機能 地域ぐるみで取り組む多面的機能支払事務の推進 ・農地の多面的機能の維持・増進を図るため、農業者等が共同で取り組む地域活動や、地域資源(農地・水路・農道等)の質的向上に資する活動を支援する。 小水力 農業用水路を活用した小水力発電の推進 ・土地改良施設を活用した発電事業により、施設の維持管理費の軽減を図るとともに、小水力発電施設等の整備を促進し、再生可能エネルギーの利用・供給の拡大を図る。		
北アルプス地域振興局 農地整備課	農地・水が持つさまざまな機能(水源の涵養、自然環境の保全、景観の形成等)が発揮できるようにするとともに、地域の景観や動植物に配慮しながら農地の集積・集約化といった農業の持続的な整備を推進する。		
長野地域振興局 農地整備課	地域の自然環境や農村景観を保全するため、「長野県農業農村整備環境対策指針」に基づき、環境に配慮した農業農村整備事業を推進する。		
北信地域振興局 農地整備課	工事の実施にあたり、再生資材の利用を促進し、建設副産物が発生する場合には適切に処分を行う。		
佐久農業農村支援センター	信州の美しい自然環境を守り、環境と調和した“環境農業”を進めるという意識のもとに、農業者が環境保全を踏まえた農業生産活動に取り組む長野県を目指す。 加えて、農業者の努力や農産物の魅力を消費者や実需者に伝え、環境農業への理解促進と環境農業で生産された農畜産物に対する評価の向上を図る。 (今年度の目標) 信州の環境にやさしい農産物認証面積:335ha		
上田農業農村支援センター	長野県の食と農業・農村の将来のめざす姿を明確にし、その実現に向けて、全ての関係者が一体となって施策を総合的かつ計画的に推進するための施策を掲げた「第4期長野県食と農業農村振興計画」に基づき、上田地域の環境と調和した農業・農村施策を推進する。		

	諏訪農業農村支援センター	信州の環境にやさしい農産物認証への取り組みを支援する。 信州の環境にやさしい農産物認証取組件数 21件		
	上伊那農業農村支援センター	信州の豊かな自然環境と調和し、持続性の高い農業を推進するため、環境にやさしい農業の制度の周知に努め、組織的・集団的な取組を進める。 「信州の環境にやさしい農産物認証」取得面積及び「長野県有機農家台帳」面積の合計 293ha		
	南信州農業農村支援センター	信州の豊かな自然環境と調和し、持続性の高い農業を推進するため、環境にやさしい農業の普及及び面的拡大を図るとともに、地球温暖化等に適応できる技術について、農業者への普及を推進する。 また、日常業務において、常に温室効果ガスの排出削減と環境配慮の視点をもって業務に取組み、率先行動により低炭素社会及び持続可能な社会の実現に貢献する。 「南信州地域」における ・信州の環境にやさしい農産物認証取組面積:52.8ha (令和4年度目標2.2ha減で設定。病気、死亡等による減及び新規取組者の100%履行を考慮し算定)		
	木曽農業農村支援センター	化学肥料や化学合成農薬による環境への負荷を軽減するため、環境にやさしい農業を推進するとともに、0カーボン対策の取り組みやGAPの推進を図る。		
	松本農業農村支援センター	・「信州の環境にやさしい農産物認証(以下、「環境認証」という。)」取得面積及び「長野県有機農家台帳」面積の合計326.9ha ・「みどりの食料システム法に基づく農業者認定(以下、みどり法認定)」の促進。		
	北アルプス農業農村支援センター	信州の豊かな自然環境と調和し、持続性の高い農業を促進するため、化学肥料や化学合成農薬を減らした環境にやさしい農業の普及及び面的拡大を図る。 信州の環境にやさしい農産物認証面積 112ha		
	長野農業農村支援センター	信州の豊かな自然環境と調和し、持続性の高い農業を促進する「信州の環境にやさしい農産物認証」制度を周知し、制度活用の面的拡大を図る。 信州の環境にやさしい農産物認証面積 250ha		
	北信農業農村支援センター	公用車燃料について、平成22年度比40%を削減する。		
林務部	森林政策課	・「第6次長野県職員率先実行計画」、「長野県ふるさとの森林づくり条例」及び「長野県森林づくり指針」を踏まえ、部の諸施策を通じ、環境負荷低減等に取り組む。森林政策課においては、森林・林業等に関する施策の策定・推進に努める。 ・「エコマネジメント長野」及び「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を踏まえ、日常業務において環境に配慮した省エネルギー及び省資源化に努める。		
	信州の木活用課	低炭素な循環型社会の形成を図るため、県産材の供給体制の強化、建築物等及び木質バイオマスへの県産材の利用促進を通じ、素材生産量の増大を目指す。 木材生産量(R2実績:570千m ³ 、R3実績:625千m ³ 、R9目標:830千m ³)		
	森林づくり推進課	清らかな水や空気を育み、土砂災害や地球温暖化を防止し、木材等の林産物を供給するなど、多面的な機能を果たす森林を健全な姿で次代に引き継ぐため、信州の森林づくり事業等により民有林9,500haの森林整備を目標とする。 計画的な森林整備を推進することで、森林の多面的機能の高度発揮に寄与する。		
	林業大学校	授業等(校外研修、校外実習)を通じて、温室効果ガス削減や低炭素・ゼロカーボンの推進につながる活動に取り組む、林業の未来を担い、低炭素で持続可能な地域社会の構築にも寄与できる人材を育成する。 職員ひとりひとりが、会議資料・復命書等のペーパーレス化や電子決裁の推進、公用車運転時のエコドライブの徹底、学校庁舎内における節電・節水・用紙の再利用に努め、省エネルギーに取り組む。		
	林業総合センター	「長野県森林づくり指針」のめざす森林の姿の実現に向けて、健全な森林育成と林業・木材産業等の振興に資するよう試験研究による課題解決、技術者養成研修等に取り組む。		
	佐久地域振興局 林務課	県産材の利活用加速化に取り組み、木材資源を地域で循環利用する仕組みを構築することにより、CO ₂ の固定を図るとともに、森林を更新することにより、CO ₂ の吸収増加を図る。		
	上田地域振興局 林務課	間伐実施(発注分)7ヘクタール ※設定根拠 ・森林整備のうち、当課が発注する県営林事業の間伐及び治山事業の本数調整伐の計画面積。 ・二酸化炭素の森林吸収源対策となるもので、当課が実施主体となる事業のみ計上。		
	諏訪地域振興局 林務課	2050ゼロカーボンの実現に向け、森林の持つ二酸化炭素吸収能力を発揮できるように、若い森林への更新を加速化する。 このため、民有林において間伐から主伐・再造林の推進に取り組む、令和5年度は18haの実行を目標とする。		
	上伊那地域振興局 林務課	豊かな森林資源を活用したエネルギーの地消地産に関する取組を進める 令和5年度 上伊那管内の木質ペレット生産量 4,500t		
	南信州地域振興局 林務課	成熟した森林資源の主伐を進め、伐採跡地に新たな森を育てることで、持続的に木材資源を活用するとともに、二酸化炭素吸収量の回復を図る。 数値目標:管内の素材生産量 36,000m ³ (しあわせ信州創造プラン3.0地域計画令和5年達成目標)		
木曽地域振興局 林務課	災害に強い森林づくりを推進するため、年間600haの間伐を実施する。			

	松本地域振興局 林務課	1. エコドライブの推進 公用車使用時のエコドライブを推進し、省エネルギーに取り組む 【目標】燃費(ガソリン使用量/走行距離)の対前年比3%削減 2. みんなで支える森林づくりの推進 県民協働による里山の整備と利活用を進めるとともに、地域の森林づくりへ企業の参加を仲介する「森林(もり)の里親制度」等により、みんなで支える森林づくりを進めます 【目標】「森林(もり)の里親制度」による協定締結1件以上		
	北アルプス地域振興局 林務課	○民有林において間伐から主伐・再造林の推進に取り組み、令和5年度の素材生産量14,300m ³ を目標とする。		
	長野地域振興局 林務課	○ 自然環境・生活環境の維持保全等、多面的機能を持つ豊かな森林を維持し、その機能を一層発揮させる。 ○ 木質バイオマスの循環利用を推進し、再生可能エネルギーの地産地消を進め、エネルギー分野における環境貢献度を高める。		
	北信地域振興局 林務課	山地保全や炭素固定など森林の公益的機能を高めるため、森林整備を計画的に進める。 今年度の間伐目標面積を150haとする。		
建設部	建設政策課	・中長期の目標 「長野県建設リサイクル推進方針」に基づき、副産物の排出抑制、適正処理及び再資源化を図るとともに、「リサイクル原則化ルール」に基づき、再資源化資材の利用を推進する。 ・今年度の目標 「リサイクリ原則化ルール」に基づき、再生砕石の使用を推進する。 建設部発注工事における再生材の平均含有率を50%以上とする。		
	道路管理課	安全で快適な通行空間を確保し、都市部等の景観形成を図るため、無電柱化を推進する。 長野県無電柱化推進計画を策定し、環境配慮の推進を図る。		
	道路建設課	美しい自然環境や豊かな生態系を、本県の貴重な財産として将来に適切に引き継ぎ保全するため、環境負荷の少ない計画や自然地の改変を最小限にとどめる設計など、環境に配慮した道路事業の推進に努める。		
	河川課	「長野県建設リサイクル推進指針」に基づき、建設副産物の抑制と再資源の推進を図る。		
	砂防課	砂防事業における堰堤の整備に当たっては、生態系に配慮し、溪流の連続性を確保すべく、透過型堰堤の採用に取り組む。		
	都市・まちづくり課	(中長期の目標) ・豊かな自然と美しい景観の保全と育成の推進 ・環境に対する関心が高まる中、信州の豊かな自然を守り、美しい景観を保全し、後世に伝えるための取組を進める。 (今年度の目標) ・街路事業、都市公園事業等において、「長野県公共事業等環境配慮推進要綱」及び「建設部公共事業環境配慮方針」に基づき、環境配慮の推進を図る。 ・既存都市公園の長寿命化により施設の延命を図るとともに、市町村の都市公園事業を支援し緑豊かなまちづくりを推進する。		
	建築住宅課	【信州健康ゼロエネ住宅助成金】 省エネ基準を上回る高い断熱性能を有し県産木材を活用する住宅の新築や、省エネルギー化リフォームを支援することにより、良質な木造住宅の普及及び、エネルギー消費量の削減を図り、長野県ゼロカーボン戦略の推進と、地域の住宅産業の活性化を図る。 住宅の新築への助成170件、省エネルギー化リフォームへの助成110件を目標とする。 【建設リサイクル法】 「長野県建設リサイクル推進指針」に基づき、建設副産物の排出抑制、適正処理及び再資源化を図るとともに、「リサイクル原則化ルール」に基づき、再資源化資材の利用を推進する。 建設副産物の適正処理及び再資源化を図るため、建設リサイクル法に係る一斉パトロールを実施する。		
	施設課	「長野県建設リサイクル推進方針」により、「コンクリート塊」、「コンクリート・アスファルト塊」の再資源化目標値を100%とし、「木くず」については95%とする。		
	佐久建設事務所	・建設部環境方針に基づき、安全で快適な通行空間を確保し、都市部等の景観形成を図るため、無電柱化を推進する。 ・長野県建設リサイクル推進指針に基づき、建設副産物の抑制と再資源化の推進を図るため、信州リサイクル製品等の率先利用に取り組む。		
	上田建設事務所	・「長野県公共事業等環境配慮推進要綱」と「長野県建設リサイクル推進指針」に基づき、建設副産物の抑制と再資源化の推進を図るため、「再生砕石」については原則利用するとともに、「信州リサイクル製品」利用工事を3箇所を実施する。		
	諏訪建設事務所	・長野県公共事業等環境配慮推進要綱及び建設部公共事業環境配慮指針に基づき、環境に配慮した公共事業を推進する。 ・長野県建設リサイクル推進指針に基づき、特定建設資材に係る分別解体等及び特定資材廃棄物の再資源化等を推進するとともに、再生建設資材の率先利用に取り組む。 ・テレビ会議や電子決裁の活用等により、資料の削減を図るとともに、保存期間を超過した書類の廃棄・整理を行い、事務の効率化を図る。		
	伊那建設事務所	・「建設部環境方針」に基づき、安全で快適な通行空間を確保し、都市部等の景観形成を図るため、無電柱化を推進する。 ・「建設部環境方針」に基づき、水辺環境の保全に取り組む。 ・「信州ふるさと道ふれあい事業(アダプトシステム) 実施要領」に基づき、地域住民の協力のもとに道路花壇等の美化・維持管理に取り組む。 ・「信州リサイクル認定製品率先利用方針」に基づき、従来の土木資材に代えて、信州リサイクル認定製品等のリサイクル製品の使用を奨励する。		
飯田建設事務所	再生資源の利用を促進するため、「再生砕石」及び「再生加熱アスファルト混合物」を原則利用するとともに、リサイクル製品(資材)利用促進モデル工事について積極的に取り組む。さらに、建設業界に対し再生資源利用促進の周知を図る。			

	木曾建設事務所	◎長野県公共事業等環境配慮推進要綱及び建設部公共事業環境配慮指針に基づき、環境に配慮した公共事業を推進する。 ◎長野県建設リサイクル推進指針に基づき、建設副産物の抑制と再資源化の推進を図る。 ◎アダプトシステムによる協定の締結をした各種団体等の活動の推進、支援を行う。		
	松本建設事務所	・建設部公共事業環境配慮指針に基づき、各事業の「計画」・「設計」・「実施」の段階ごとに、環境に配慮した公共事業を推進する。 ・安全で快適な通行空間を確保し、都市景観形成を図るため、無電柱化を推進する。 ・既存公園の維持管理を適正に行うとともに緑豊かなまちづくりを推進する。		
	安曇野建設事務所	・長野県公共事業等環境配慮推進要綱及び建設部公共事業環境配慮指針に基づき、環境に配慮した公共事業を推進する。 ・長野県建設リサイクル推進方針に基づき、建設副産物の抑制と再資源化の推進を図る。 ・信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)による協定締結団体の活動を支援する。		
	大町建設事務所	「長野県建設リサイクル推進指針」に基づきリサイクルを推進し、建設副産物の抑制と再資源化の推進を図るため、「信州リサイクル製品及び同等品」利用工事を2件実施する。 ・街路事業 (都)館の内借馬線 大町市 松崎 ・道路事業 (一)千国北城線 北安曇郡小谷村 中島		
	千曲建設事務所	① 建設副産物の抑制と再資源化の促進を図るため、「信州リサイクル製品」利用工事を2件実施する。 ② 技術者セミナーを開催し、建設リサイクルに関する周知徹底を図る。 ③ 地域住民の参加協力を得て、住民と行政の協働による河川や道路の維持管理を行う。 ④ 道路愛護活動団体へのアダプトシステムによる協定に基づいた活動支援を推進する。		
	須坂建設事務所	○長野県公共事業等環境配慮推進要綱及び建設部公共事業環境配慮指針に基づき、環境に配慮した公共事業を推進する。また、長野県建設リサイクル推進指針に基づき、特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等を推進するとともに、再生建設資材の率先利用に取り組む。 ○アダプトシステムによる協定の締結をした各種愛護団体等の活動の推進、支援を行う。 ○日常業務においては、省資源、省エネルギーに取り組む。		
	長野建設事務所	・2050ゼロカーボン達成に向けてZEH基準を超える、より高い省エネ性能を確保するため「信州健康ゼロエネ住宅指針」に適合する高断熱・高性能な住宅の啓発・普及促進を図る。 ・「信州リサイクル製品」利用工事を所内の発注工事で3件以上。 ・特定建設資材廃棄物の再資源化の推進。 ・河川愛護団体、信州ふるさとの道ふれあい事業(アダプトシステム)活動団体に対する支援。		
	北信建設事務所	特定資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再生資源化等について定めた建設リサイクル推進指針を促進し、併せて再生砕石等の再生建設資材の優先利用に努める。 『技術者セミナー』で、建設リサイクル推進及び建設廃棄物の適正な処理等について、建設業者への周知、徹底を図る。		
	犀川砂防事務所	公共事業等環境配慮推進要綱に基づき再生材の使用など環境に配慮した砂防事業に努める。 砂防ボランティア等を積極的に支援し、砂防施設の草刈り等を実施して砂防施設を適切に管理することにより災害等による環境破壊の防止に貢献する。		
	姫川砂防事務所	地域のボランティア活動の支援促進及び協働活動を行い、砂防施設の維持管理に努める。		
	土尻川砂防事務所	・施工現場から発生する伐採木を住民に無償提供し、廃棄物の排出を削減する。 ・施工受託者に対し、過積載に起因する環境問題を周知し、騒音の低減及び排出ガスを削減する。		
企業局	電気事業課	効率的な水力発電事業を実施し、作業溢水電力量を6,588千kWh以下にする。 (R5年度目標 6,588千kWh/年間発生電力量(目標)232,243千kWh)		
	水道事業課	企業局の水道工事等に係る計画・設計・実施の各段階において、「企業局環境配慮指針」に基づき、環境に配慮すべき項目(実施対象項目)のうち90%以上を実施する。		
教育委員会	教育政策課	持続可能な脱炭素社会の実現に向け、あらゆる世代が省エネルギー・環境保全等の課題に対して適切な判断と行動をとれるよう素養の育成を学校教育や生涯学習を通して進める。そのため、各学校で行っている、環境に関する学習等を県教育委員会のホームページで紹介することで、学校及び地域の方々への環境活動等が推進されるよう意識啓発を図る。		
	高校教育課	○電子供覧の活用、ペーパーレス会議の推進等により、コピー用紙の使用枚数を令和4年度実績以下とする。 ○県立高校に対して、会議等の場を活用し、環境に関する意識啓発を行う。		
	特別支援教育課	子どもの学ぶ環境に配慮しながら、日常の中で省資源・省エネルギーに取り組む。		
	学びの改革支援課	環境教育に携わる指導者の養成や、自然・環境に関する探究学習の推進をとおして、児童・生徒の環境に対する興味・関心を深める。		
県警本部	県警本部(全体)	信号機の電球をエネルギー効率の高いLEDに切り替えていく。		